

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	次世代アスリート特別強化推進事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	競技スポーツ課長 杉浦 久弘	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度・未定		担当課室	競技スポーツ課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	スポーツの振興 XII-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	オリンピック競技大会でのメダル獲得に向けて、各競技団体にナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを配置し、特別強化プランを実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	オリンピック競技大会でのメダル獲得に向けて、JOCの評価ランク等を参考に、メダルの獲得が期待できる18競技(水泳、体操、陸上競技、サッカー、セーリング、バレーボール、テニス、卓球、自転車、フェンシング、バドミントン、ボート、トライアスロン、ウエイトリフティング、ライフル射撃、アーチェリー、カヌー、スケート)を選定し、次世代のトップアスリートを育成するための中・長期的な強化戦略プランに基づく強化活動全般を統括するナショナルコーチ及び、より実動的に強化に取り組むアシスタントナショナルコーチを設置することにより、競技団体のさらなるレベルアップを図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	△8	8	—			
		計	2,404	402	394	394	394	
	執行額	2,404	402	394				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数	成果実績	メダル獲得数				夏季:38	夏季:39 冬季:11
		達成度	%				100.0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	オリンピック競技大会でメダルの獲得が期待できる競技団体数	活動実績	競技団体数		18	19	19	—
		(当初見込み)			(18)	(18)	(18)	(18)
単位当たりコスト	ナショナルコーチ設置1競技団体当たりのコスト(20,747,850円/1競技団体)		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度次世代アスリート特別強化推進事業執行額(394,209,151円)÷ナショナルコーチ設置競技団体数(19競技団体)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費、スポーツ振興事業委託費	394百万円	394百万円					
	計	394百万円	394百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費 必要性		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、スポーツ基本計画の「ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、トップアスリートの活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであり、広く国民のニーズがある事業である。なお、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった事業目的を達成するためには、統括競技団体及び中央競技団体との連携を図りながら事業を進めることが重要であることから、国が総合的に推進していく必要がある。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の 効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。 なお、委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところである。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
		単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の 有効性		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	民間団体に対する委託事業として実施しているが、統括競技団体と協議し、効率かつ実効性の高い運用を行っているところ。 また、当該事業は「スポーツ基本計画」に基づき、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった定量的な目標値を設定した上で実施しており、自己評価を行うなど、着実な実施に努めている。		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複 排除		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検 結果		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、ロンドンオリンピックでは過去最多である38個のメダルを獲得し、メダル数と合わせた入賞総数も計80と史上最多であるなど一定の成果を収めることができた。しかしながら、政策目標の一つである「金メダルランキング5位以上」については達成することができなかったことから、本事業の機能・品質の向上及び高度化を図りつつ、継続していく必要がある。 ・予算の執行状況に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書、証拠書類(賃金出納簿、見積書、納品書、請求書、領収書等)により適切な執行がなされているか、検査を行った。 ・資金の流れ、用途の点検方法については、定例的に事務担当者との面接を実施し、事業の進捗状況と経費支出状況を聴取することで、適切な執行がなされているか確認を行った。 ・活動実績に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書により、事業の実施内容や目標の達成度合いについて確認している。 				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 改善 内容 の	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点: この事業は、オリンピック競技大会のメダル獲得に向けてナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを配置し、特別強化プランを実施する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見: 当該事業は、計画通りに予算執行されているが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト縮減に努めるべきである。 					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮 減	平成26年度概算要求において、ナショナルコーチ等海外旅費の積算単価を見直し、概算要求に▲2百万円反映した。					
備考						
スポーツ基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm スポーツ振興基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0366	平成23年	0353	平成24年	0379

※平成24年度実績を記入。

文部科学省
394百万円

職員旅費 0.2百万円を含む

オリンピック競技大会でのメダル獲得に向けて、各競技団体にナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを配置し、特別強化プランを実施する。

【公募・委託】

A. (公財)日本オリンピック委員会
394百万円

水泳、体操、陸上競技、サッカー、セーリング、バレーボール、テニス、卓球、自転車、フェンシング、バドミントン、ボート、トライアスロン、ウエイトリフティング、ライフル射撃、アーチェリー、カヌー、スケートの18競技について、強化活動全般を統括するナショナルコーチ等を配置。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)日本オリンピック委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	ナショナルコーチ等賃金	347			
社会保険料	ナショナルコーチ等社会保険料	44			
健康診断	ナショナルコーチ等定期健康診断料	1			
雑役務費	社会保険労務士等への業務委託料	1			
その他	印刷製本費、会議費等	1			
計		394	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 次世代アスリート特別強化推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本オリンピック委員会	18競技について、強化活動全般を統括するナショナルコーチ等を配置	394	企画競争	—